

## メッセージ

安西祐一郎（慶應義塾大学名誉教授）

18回目の年度末研究成果報告会とのこと、まことにおめでとうございます！ また、論理と感性のグローバル研究センターも次年度は7年目に入るとのこと、岡田光弘センター長はじめ諸先生方、職員、関係者の方々の多大なご貢献、ご尽力に、深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。2002年の21世紀COE発足当時のことを思い出しますね！ 論理と感性の関係を多様な角度から理解していく学問の道を、分野を横断し、塾のキャンパスを横断し、国際的な共同研究の場を創りつつ、開拓されてきた実績は、何ものにも代えられない貴重な学術的成果だと存じます。現在の日本と世界が直面している課題の中でも最も深い、きわめて重要な哲学的・人間学的課題への挑戦であり、大きな貢献です。そのことを早くから見抜き、18年にわたって持続・発展を続けてこられた関係者、支援者の皆様に大きな拍手を送るとともに、センターのますますの発展と学問の蓄積を心より祈念申し上げます。